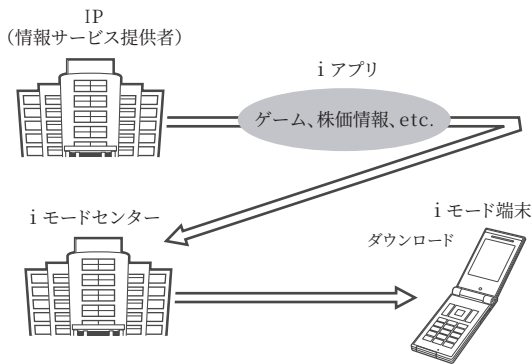


i アプリ

i アプリとは.....	242
サイトから i アプリをダウンロードする	243
i アプリを起動する	245
i アプリを自動起動する	250
サイトやメールから i アプリを起動する	i アプリ To 機能 251
i アプリ待受画面を設定する	i アプリ待受画面設定 251
i アプリを管理する	253

i アプリとは

i アプリをサイトからダウンロードすることにより、i モード対応 FOMA 端末（以下、i モード端末）を便利に活用いただけます。たとえば i モード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報の i アプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックできます。さらに、地図の i アプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、i アプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できる i アプリもあります。



- i アプリをダウンロードするには→P.243
- i アプリを起動するには→P.245
- i アプリを自動起動するには→P.250

おしらせ

- ソフトによっては i モード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用場合があります。
- ソフトによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

■ 端末情報データを利用する

i アプリのソフトには、お客様の i モード端末の端末情報データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。端末情報データを利用してできることは以下のとおりです。

- ・電話帳登録
- ・アイコン情報利用
- ・ブックマーク登録
- ・スケジュール登録
- ・データBOXからの画像取得
- ・データBOXへの画像保存
- ・i モーション保存
- ・i モーション参照
- ・アラームの設定変更
- ・マイピクチャへのフォルダ追加

● i アプリDXとは

i アプリDXでは、i モード端末の情報（メールや発信履歴、電話帳のデータなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信が知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、i アプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

■ 端末情報データを利用する

i アプリDXのソフトでは、通常の i アプリで利用できる端末情報データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、発信履歴、着信履歴、着信音などの端末情報データを参照、登録、操作できるものがあります。端末情報データを利用してできることは以下のとおりです。

- ・電話帳登録
- ・電話帳参照
- ・アイコン情報利用
- ・ブックマーク登録
- ・スケジュール登録
- ・メールメニューの利用
- ・i モードメール作成画面利用
- ・最新の発信履歴参照

- ・最新の着信履歴参照
- ・最新の未読メール参照
- ・メロディ保存
- ・着信音変更(電話、テレビ電話、メール、メッセージR/F、チャットメール)
- ・データBOXからの画像取得
- ・データBOXへの画像保存
- ・画面設定の変更(メニューアイコン、待受画面、電話発信、テレビ電話着信、メール送受信、メッセージR/F受信)
- ・キャラ電保存
- ・キャラ電参照
- ・テレビ電話代替画像の設定変更
- ・アラームの設定変更
- ・i モーション保存
- ・i モーション参照
- ・受信BOX/送信BOX参照
- ・マイピクチャへのフォルダ追加

おしらせ

- i アプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず自動的に通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。

● メール連動型 i アプリとは

メール連動型 i アプリは i アプリDXの一種で、i モードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進捗がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用できます。

- ・メール連動型 i アプリで利用される i アプリメールは、正しく表示できない場合があります。

● こんなこともできます

■ i アプリ待受画面

i アプリ待受画面では i アプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の詳細情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。→P.251

- ・ i アプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

■ i アプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。→P.250

■ カメラ撮影

ソフトから i モード端末のカメラを使って撮影できます。→P.146

- ・カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

■ 赤外線通信

ソフトから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使いかたができます。→P.296

- ・赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- ・相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ 赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。→P.301

たとえばお買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます。

- ・赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

サイトから i アプリをダウンロードする

i モードのサイトからソフトをダウンロードして、FOMA端末で起動します。

- ダウンロードしたソフトは最大200件まで(メール連動型 i アプリは5件まで)保存できます。保存可能件数はソフトのデータ量によって変動します。なお、部分的に取得した i アプリも保存可能件数に含まれます。
- メール連動型 i アプリをダウンロードした場合、送信メールフォルダおよび受信メールフォルダ一覧に i アプリメール用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型 i アプリ名が付き、変更できません。ただし、i アプリにオリジナルロック設定中はフォルダ名が「i アプリ」になります。
- メール連動型 i アプリ専用のフォルダが5件ある場合、すでに保存されているメール連動型 i アプリ専用のフォルダを削除して新しいソフトをダウンロードする容量を確保してください。

- 同じ受信メールフォルダ、送信メールフォルダを利用するメール連動型 i アプリがすでに保存されている場合は、メール連動型 i アプリをダウンロードできません。
- メールセキュリティの設定中は、メール連動型 i アプリをダウンロードできません。メールセキュリティを解除してください。
- メール連動型 i アプリを利用して送受信したメールは、メール連動型 i アプリをダウンロードするときに作成されるフォルダに自動的に振り分けられます。また、受信したメールを手動で振り分けることもできます。
- フォルダを残して削除したメール連動型 i アプリをもう一度ダウンロードした場合は、残していたフォルダを利用できます。また、残していたフォルダを削除して新規のフォルダを作成することもできます。残していたフォルダを利用せずに、新規のフォルダも作成していない場合は、メール連動型 i アプリをダウンロードできません。
- 有料 i アプリをダウンロードしようとしたときには、確認のメッセージが表示されます。→P.177

1 ソフトを選択

ダウンロードが完了し、「完了しました」というメッセージが表示されたら  [選択] を押します。ただし、サイトからすぐに起動するソフトの場合、メッセージは表示されずにソフトが起動します。

■ データの取得中にダウンロードを中止する場合

▶ ダウンロード中 ▶  [Cancel] または  [CLR]

■ ソフト設定画面が表示された場合

▶ ソフトを設定 ▶ 「YES」

ソフトの設定について→P.246

2 「YES」

ソフトを起動すると画面下に  が表示されます。i アプリ DX を起動した場合は  が表示されます。

■ ソフトを起動しない場合

▶ 「NO」

● 部分的に取得した i アプリの残りのデータを取得する

「ソフト一覧画面」(P.245) で、部分的に取得した i アプリ () を選択すると、残りのデータを取得するかどうかの確認メッセージが表示されます。

すべてのデータを取得して保存すると、部分的に保存されていたデータは削除されます。

- 残りのデータが正しくない場合などは、データの取得ができません。この場合、取得操作を行うと部分的に保存されていたデータは削除されます。

おしらせ

- 接続するサイトや i アプリのソフトのサイズによっては、ダウンロードできない場合があります。
- i アプリによっては、ダウンロードした後も自動的に通信をする場合があります。あらかじめ「ソフト設定」の「通信設定」で通信を行わないように設定することもできます。
- SSL対応のサイトからソフトの情報やソフトをダウンロードする場合は、「」が表示されます。→P.169
- 端末情報データ（登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号）を利用する i アプリ、または i アプリ DX をダウンロードする場合は、端末情報データを利用することを通知する旨のメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、お客様の端末情報データは、インターネットを経由して IP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。
- 通信して利用するソフトや待受画面に設定できるソフトをダウンロードした場合は、ソフト設定画面が表示されます。ダウンロードしたソフトに応じて設定した後、i アプリを起動するか選択してください（ を押した場合、設定が破棄されます）。
- ダウンロード済みのソフトを、異なる FOMAカードで再ダウンロードする場合は、ソフトを上書きするかどうか確認のメッセージが表示されます。
- 「i アプリメール」とは、メール連動型 i アプリで送信したメールや、メール連動型 i アプリ用として送られてきたメールのことです。i アプリメールには、i アプリメール用フォルダに自動的に保存されるように i アプリ利用データが設定されています。

ダウンロード時に i アプリの情報を見る 〈ソフト情報表示設定〉

お買い上げ時 表示しない

ソフトをダウンロードするときにソフトの情報を確認できるように設定します。

- 1  ▶ 「各種設定」▶ 「i アプリ設定」▶ 「ソフト情報表示設定」▶ 「表示する」

■ 確認しない場合

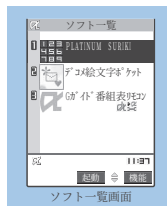
▶「表示しない」

i アプリを起動する

i アプリを起動する

① **[α] [mode] (1秒以上)**

「ソフト一覧画面」が表示されます。



機能メニュー▶P.246

② ソフトを選択

i アプリを終了する

① **[CLR] (1秒以上) または [戻る] ▶「終了する」**

■ 終了しない場合

▶「終了しない」

■ i アプリを中断する場合

▶「中断する」

待受画面が表示され、他の操作が行えるようになります（一部利用できない機能があります）。

i モードなどを起動していた場合は、それぞれの画面に戻ります。

■ ソフトを作成される方へ

i アプリのソフトを作成して正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。

[MENU] ▶「i アプリ」▶「i アプリ実行情報」▶「トレース情報」の順に操作します。ソフトのトレース情報が、発生した順に表示されます。機能メニューから「情報コピー」を選択すると、トレース情報をコピーできます。機能メニューから「情報削除」を選択すると、トレース情報を削除できます。

おしらせ

- 「自動起動設定」を「許可する」に設定し、「自動起動時刻設定」を設定すると、ソフトを自動で起動できます。
- ソフトの起動中に音声電話、テレビ電話がかかってきた場合は、ソフトは一時中断されます。通話が終了するとソフトの画面に戻ります。ただし、i アプリの通信中は、「パケット通信中着信設定」の設定に従います。
- メール連動型 i アプリで利用される i アプリメールは正しく表示できない場合があります。
- ソフトの起動中は電池バックを外さないでください。それまでのデータや情報が保存されない場合があります。
- ソフトによってはmicroSDメモリーカードに、利用するデータ（i アプリデータ（microSD））を保存することができます。
- ソフトによっては利用中にmicroSDメモリーカードにデータをコピーなどすると、利用できないことを通知するメッセージが表示される場合があります。
- ソフトによっては、i アプリからPhone To（AV Phone To）機能やWeb To機能を利用することができます。ただし、i アプリ待受画面からはご利用になれません（i アプリ実行中は利用可能です）。
- i アプリで利用する画像※やお客様が入力したデータなどは、自動的にインターネットを経由し、サーバに送信される可能性があります。
※：i アプリで利用する画像とは、カメラ連携（連動）のi アプリからカメラを起動して撮影した画像、i アプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、i アプリがサイトやインターネット経由で取得した画像、i アプリがデータBOXから取得した画像を指します。
- トレース情報がない場合は、「トレース情報」は表示されません。
- トレース情報のメモリに空きがなくなると、古い情報から順番に上書きされます。
- i アプリのソフトによっては、音が鳴らない場合があります。
- i アプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はi アプリの一部として保存、利用されます。
- i アプリからカメラを起動した場合、ソフトによって画像サイズや画質、フレームなどが設定されることがあります。
- i アプリからバーコードリーダーを起動してJANコード、QRコードを読み取ることができます。読み取ったデータはソフトで利用されます。
- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのソフトの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト情報の表示のみ可能になります。再度、ご利用いただくにはソフト停止解除の通信を受ける必要があるため、IPにお問い合わせください。

- ソフトによっては、IP（情報サービス提供者）がFOMA端末に保存されたソフトにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がソフトに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、「」が点滅します。この際、通信料はかかりません。

機能 ソフト一覧画面

1 ソフト一覧画面（P.245）▶ [機能] ▶以下の項目から選択

iアプリTo設定……「iアプリToで起動するかどうかを設定する」→P.251

自動起動時刻設定……「起動日時を設定する」→P.250

ソフト設定……ソフトの各種設定を行います。

待受画面設定……「iアプリ待受画面を設定する」→P.251

通信設定……iアプリを起動したときに通信するかしないかを設定します。「起動ごとに確認」を設定した場合は、iアプリを起動するたびに通信するかしないかを選択できます。

▶ [完了]

待受画面通信……待受画面に設定したiアプリが通信するかしないかを設定します。

▶ [完了]

アイコン情報……iアプリを起動したときに未読のメール、メッセージのアイコン情報の利用を許可するかしないかを設定します。

▶ [完了]

着信音／画像変更……iアプリDXを起動したときに電話やメール、メッセージの着信音、待受画面やメール送受信時などの画像、メニューアイコンの変更を許可するかしないかを設定します。「許可する」に設定した場合は、自動的に着信音、画像、メニューアイコンが変更されます。「変更ごとに確認」を設定した場合は、iアプリが自動変更をしようとするたびに変更するかしないかを選択できます。

▶ [完了]

電話帳／履歴参照……iアプリDXを起動したときに電話帳や最新の発信履歴、着信履歴、最新の未読メールの参照を許可するかしないかを設定します。

「許可する」に設定した場合は、自動的に電話帳や履歴を参照します。

▶ [完了]

省電力設定……iアプリ実行中に端末を閉じたとき、iアプリを一時的に停止させるかどうかを設定します。

▶ [完了]

ソフト情報……「iアプリの情報を確認する」→P.247

バージョンアップ……「iアプリをバージョンアップする」→P.253

デスクトップ貼付……「デスクトップアイコンを利用する」→P.117

保存容量確認……iアプリの保存容量を表示します。

削除……「1件削除／選択削除／全削除」から選択します。「複数選択について」→P.39

おしらせ

<ソフト設定（通信設定）>

- 「通信しない」に設定した場合は、タイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<ソフト設定（アイコン情報）>

- 本機能を「利用する」に設定すると、未読のメール・メッセージの有無や圏内・圏外アイコンの有無、電池残量やマナーモードの状態がお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」と同じようにインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- 本機能を「利用しない」に設定した場合、アイコン情報が必要なソフトによってはiアプリが動作しないことがあります。

<ソフト設定（省電力設定）>

- 本機能を設定すると、端末を閉じたときにタイムリーな情報提供を受けられない場合がありますのでご注意ください。

<削除>

- iアプリ待受画面に設定されているソフト（）の付いているソフト）や自動起動するように設定されているソフト（）の付いているソフト）、iアプリ待受画面および自動起動するように設定されているソフト（）の付いているソフト）を削除しようとすると、ソフトの設定状態と削除するかどうかのメッセージが表示されます。

- メール連動型 i アプリを削除する場合は、対応するメール連動型 i アプリ専用フォルダも削除するかどうかのメッセージが表示されます。ソフトのみを削除する場合は「NO」を、フォルダも同時に削除する場合は「YES」を選択します。ただし、「YES」を選択してもメール連動型 i アプリ専用フォルダが使用中の場合、フォルダにセキュリティが設定されている場合、保護メールがある場合は削除できません。
- メール連動型 i アプリを削除すると、削除するソフトを選択している間に受信した i アプリに対応している新着メールが削除されることがあります。

i アプリ実行時の音量を調節する

〈i アプリ音量〉

i アプリの音量を調節します。

① **MENU ▶「各種設定」▶「i アプリ設定」▶「i アプリ音量」**

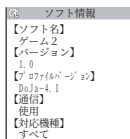
② **音量を設定**

お知らせ

- i アプリ音量は、「SILENT／LEVEL 1～6」の範囲で設定することができます（お買い上げ時：LEVEL 4）。
- ソフトによっては音量設定ができるものがあります。ただし、「i アプリ音量」を「SILENT」に設定している場合、ソフトの音量設定にかかわらず音が鳴りません。
- マナーモード設定中の i アプリ音量は、マナーモード設定に従います。またオリジナルマナーモード設定時の i アプリ音量は、マナーモード設定の「i アプリ音量」で再生されます。

i アプリの情報を確認する

① **ソフト一覧画面 (P.245) ▶  「機能」▶「ソフト情報」▶ソフト情報を確認**



お知らせ

- 本機能で表示されるソフトのソフト名は変更できません。

- ソフト一覧画面では以下のようなアイコンでソフトの種類や設定を確認できます。

 : i アプリ DX→P.242

 : メール連動型 i アプリ→P.243

 : 「自動起動時刻設定」を設定済み

 : 「i アプリ待受画面設定」を設定済み

 : 「自動起動時刻設定」と「i アプリ待受画面設定」を設定済み

 : 「i アプリ To 設定」が設定可

 : 「i アプリ待受画面設定」が設定可

 : 「i アプリ To 設定」と「i アプリ待受画面設定」が設定可

 : SSL対応ページからダウンロードしたソフト

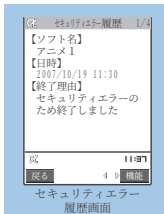
 : microSDメモリーカードにデータを保存できるソフト→P.253

 : 部分的に取得した i アプリ

セキュリティエラー履歴を確認する

i アプリや i アプリDXが、許可されている機能以外の動作を起動しようとしたときは、セキュリティエラーが発生して、その内容がセキュリティエラー履歴に記録されます。

① **MENU ▶「i アプリ」▶「i アプリ実行情報」▶「セキュリティエラー履歴」**
「セキュリティエラー履歴画面」が表示されます。



機能メニュー▶P.248

② **セキュリティエラーの内容を確認**

① セキュリティエラー履歴画面 (P.247) ▶ ☒ [機能]

▶ 以下の項目から選択

情報コピー……セキュリティエラーの内容をコピーします。

情報削除……セキュリティエラーの内容を削除します。

ソフトからほかのソフトを起動する

起動中のソフトからほかのソフトを起動します。指定されたソフトを起動するソフトをダウンロードすることにより、ソフト一覧画面に戻らずにソフトを起動することもできます。

- 起動するソフトが指定されていない場合は、ソフトを指定します。
- 起動するソフトが指定されていてもFOMA端末内に保存されていない場合は、あらかじめダウンロードしておく必要があります。

① ソフトを起動する項目を選択

お買い上げ時に登録されているソフト

お買い上げ時には「PLATINUM SURIKI」をはじめ、3種類のソフトがあらかじめ登録されています。

- ソフトの種類、および「ソフト設定」の内容は別表1のとおりです。
- 長時間ディスプレイを見ていると、目が疲れる場合がありますのでご注意ください。
- お買い上げ時に登録されている i アプリのソフトを削除した後に元に戻すときは「ケータイ電話メーカー」サイト内の「みんなNらんど」からダウンロードしてください。
「みんなNらんど」への接続のしかた→P.167
ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用しているときは、FOMAカード動作制限機能がかかります。

【別表1】ソフトの種類とソフト設定の内容

ソフト設定項目	PLATINUM SURIKI	デコメ絵文字ポケット	Gガイド番組リモコン
待受画面設定	なし	なし	なし
通信設定	通信する	通信する	通信する
待受画面通信	なし	なし	なし
アイコン情報	なし	なし	なし
着信音／画像変更	—	—	なし
電話帳／履歴参照	—	—	なし
省電力設定	しない	しない	しない

● PLATINUM SURIKI

空いているマス（ブロック）に1～9の数字を入れるナンバープレースゲームです。縦横に並んだブロックの各列と、太枠で囲まれた3×3のグリッドに同じ数字が入らないようにします。

① ソフト一覧画面 (P.245) ▶ 「PLATINUM SURIKI」▶ ☒ [YES]

■ サウンドを鳴らさない場合

▶ ☒ [NO]

② 「数力をプレイ」



■ その他の機能

チュートリアル……解説つきでお試しプレイができます。

続ける……前回セーブしたところから再開できます。

解答モード……雑誌などに載っている問題を入力して解くことができます。

カスタム問題……ご自分で問題を作成できます。作った問題が解けるかどうかのチェックもできます。

オプション……操作のしかたの確認やゲームの設定などができます。

成績……プレイしたゲームの成績が表示されます。

クレジット……ゲームの情報が表示されます。

終了……ゲームを終了します。

③ 難易度を選択

ゲームがはじまります。

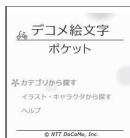
● デコメ絵文字ポケット

i モードメール上で絵文字のように使えるデコメ絵文字を、簡単に検索、保存ができるデコメ絵文字専用の i アプリです。

情報サービス提供者から提供されるデコメ絵文字を、「カテゴリー」や「イラスト・キャラクタ」などのテーマから探すことができ、簡単にFOMA端末に保存することができます。

また、複数のデコメ絵文字を一括して保存することもできます。お気に入りのデコメ絵文字を見つけたら、その画像を提供するサイトの紹介文をご覧いただけ、サイトへアクセスすることもできます。

- 「デコメ絵文字ポケット」の月額情報は無料です。IP（情報サービス提供者）が提供するサイトをご覧になる場合には別途 i モード情報料がかかる場合があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（i モード＜FOMA＞編）』をご覧ください。



● Gガイド番組表リモコン

テレビ番組表とAVリモコン機能が一つになった月額利用料が無料の便利アプリです。

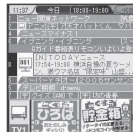
知りたい時間の地上アナログもしくは地上デジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組のタイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。

気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDレコーダーに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応

しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。

さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索が可能です。また、テレビ・ビデオ・DVDプレイヤーのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

- はじめて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用時は、FOMA 端末の「時計設定」を日本時間に合わせてください。
- 詳しくは『ご利用ガイドブック（i モード＜FOMA＞編）』をご覧ください。



※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

■ リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

- 初期設定方法
 - ① DVDレコーダーにインターネット接続の設定をしてください（ご利用のDVDレコーダーの取扱説明書をご確認ください）。
 - ② 次に本アプリを立ち上げ、メニューの「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。
- 番組予約の方法
初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューからリモート録画予約を選ぶと、インターネット経由で本アプリで設定したDVDレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。
※すでに同じ時間に予約がされている場合には、メッセージが番組表に表示されます。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。

おしらせ

● 「初期設定」および i アプリの「主なメニュー」の機能など、i モード通信を利用する際は、パケット通信料がかかります。

- i アプリの通信設定で「通信しない」に設定した場合は、i モード通信を行えず、「初期設定」および i アプリの「主なメニュー」内の機能はご利用いただけませんのでご注意ください。
- FOMA 端末に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

i アプリを自動起動する

指定した日時または時間間隔でソフトが自動起動するように設定します。

自動起動するかどうかを設定する

〈自動起動設定〉

お買い上げ時 許可しない

- 自動起動時刻は 3 件まで設定することができます。

① MENU ▶ 「i アプリ」 ▶ 「自動起動設定」 ▶ 「許可する」または「許可しない」

起動日時を設定する

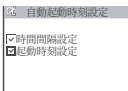
〈自動起動時刻設定〉

お買い上げ時 すべて OFF

ソフトが自動起動する日時を設定します。

- 以下のような場合、ソフトは自動起動しません。
 - ・電源を切っている場合
 - ・ほかの機能が起動している場合
 - ・通話中
 - ・ソフトウェア更新の予約時刻、アラーム、スケジュール、To Do リストの設定時刻が自動起動の時刻と同じ場合
 - ・同じソフトに対して、前回自動起動した時刻から 10 分未満で起動時刻が設定されていた場合

① ソフト一覧画面 (P.245) ▶ 「機能」 ▶ 「自動起動時刻設定」 ▶ で ☐ (チェックボックス) を選択



- ソフトに設定されている時間間隔を有効にする場合

▶ 「時間間隔設定」のチェックボックスを選択

- 起動日時を設定する場合

▶ 「起動時刻設定」のチェックボックスを選択

② 「完了」 ▶ 起動日時を設定

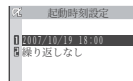
- 起動日時を設定する場合

▶ 日時を選択 ▶ 起動日時を入力

- 自動起動の繰り返しを設定する場合

▶ 繰り返し設定を選択 ▶ 「毎日」または「曜日指定」

「曜日指定」を選択したときは、 で ☐ (チェックボックス) を選択し  「完了」を押します。



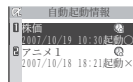
③ 「完了」

i アプリが自動起動したかどうかを確認する

ソフトが設定した時刻に自動起動したかどうかを確認します。

① MENU ▶ 「i アプリ」 ▶ 「i アプリ実行情報」 ▶ 「自動起動情報」

ソフト名、自動起動時刻、起動したかどうかの情報が表示されます。自動起動した場合は「起動○」、自動起動しなかった場合は「起動×」、自動起動前の場合は「未起動」と表示されます。



おしらせ

- 自動起動できなかった場合は、待受画面に「 (未起動ソフトあり)」というデスクトップアイコンが表示されます。アイコンを選択すると、自動起動情報画面が表示されます。起動するソフトを選択すると、ソフトを起動することができます。情報を通知するデスクトップアイコンについて→P.119
- i モード中やほかのソフトを実行していて自動起動できなかった場合も記憶されます。
- 自動起動情報には、お客様が起動を認識しなかったソフトの自動起動情報が含まれる場合があります。

サイトやメールから i アプリを起動する <i アプリTo機能>

i モードのサイトやメールなど、i アプリ以外の機能から i アプリを起動します。

i アプリToで起動するかどうかを設定する <i アプリTo設定>

お買い上げ時 | すべて起動する

i モードのサイトやメール、赤外線通信機能、バーコードリーダーから i アプリのソフトを起動するかどうかを設定します。

● ソフトごとに設定することができます。

① ソフト一覧画面 (P.245) ▶  [機能] ▶ 「i アプリTo設定」

②  で  (チェックボックス) を選択 ▶  [完了]

サイトから i アプリを起動する

i モードのサイトに i アプリのソフトの起動指定が表示されている場合は、サイトからソフトを起動することができます。

● 一部ご利用にならないサイトがあります。

① サイト画面 (P.167) ▶ ソフトを起動する項目を選択 ▶ 「YES」

お知らせ

- 通常の i アプリのソフトとは異なり、i モードのサイトからすぐに起動する i アプリのソフトがあります。
- i モードのサイトからダウンロードしてもFOMA端末には保存されていません。ソフト一覧画面にも表示されません。
- ソフト起動後に、通信するかどうかのメッセージが表示される場合があります。
- ソフト終了後、保存するかどうかのメッセージが表示される場合があります。
- FOMA 端末に保存できないソフトもあります。

メールから i アプリを起動する

受信した i モードメールに i アプリのソフトの起動指定が貼り付けられている場合は、i モードメールからソフトを起動することができます。

① 受信メール詳細画面 (P.221) ▶ ソフトを起動する項目を選択 ▶ 「YES」

お知らせ

- 複数のデータが貼り付けされている場合、その貼り付けデータ自体が表示されないことがあります。
- i モードメールを引用返信や転送をしても、i アプリの起動指定は引用できません。また、赤外線通信機能やドコモケータイdatalink (P.373) などを使ってメールを転送した場合も、i アプリの起動指定は引用できません。

その他の機能から i アプリを起動する

赤外線通信機能、バーコードリーダーなど、さまざまな機能から i アプリを起動します。

■ 赤外線通信機能

赤外線通信中に i アプリ起動の信号を受信すると、i アプリのソフトが起動します。

■ バーコードリーダー

バーコードリーダーで読み取ったデータに i アプリの起動指定が含まれている場合は、バーコードリーダーからソフトを起動することができます。

i アプリ待受画面を設定する

<i アプリ待受画面設定>

選択した i アプリのソフトを待受画面として設定します。i アプリ待受画面の表示中は、画面下に「」または「」が表示されます。

● 待受画面に設定できないソフトもあります。

① ソフト一覧画面 (P.245) ▶  [機能] ▶ 「ソフト設定」 ▶ 「待受画面設定」 ▶ 「設定する」 ▶  [完了]

お知らせ

- i アプリ待受画面に設定できる i アプリは1件のみです。

- 待受画面に設定したソフトには「

i アプリ待受画面を実行する

i アプリ待受画面に設定したソフトを実行します。

- ① **i アプリ待受画面表示中**▶
i アプリが実行中になり、画面下の「

■ i アプリ待受画面実行中のメニュー

i アプリ待受画面実行中に

キャンセル…… i アプリ待受画面実行中の画面に戻ります。

終了する…… i アプリ待受画面に戻ります。

解除する…… i アプリ待受画面の設定を解除します。

中断する……待受画面が表示され、他の操作が行えるようになります (一部利用できない機能があります)。

i モードなどを起動していた場合は、それぞれの画面に戻ります。

i アプリ待受画面を解除する

〈i アプリ待受画面解除〉

- ① **MENU**▶「各種設定」▶「i アプリ設定」▶「待受画面終了」
② **「設定解除」**▶「YES」
■ 解除を中止する場合
▶「終了」

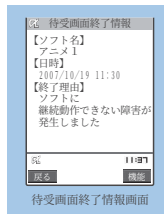
おしらせ

- i アプリ待受画面を解除すると、「画面表示設定」の「待受画面」で設定した画像が待受画面に表示されます。

i アプリ待受画面の終了情報を確認する

i アプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラーが発生したソフト名、発生時刻、発理由が記憶され、その内容を確認できます。

- ① **MENU**▶「i アプリ」▶「i アプリ実行情報」▶「待受画面終了情報」
「待受画面終了情報画面」が表示されます。



待受画面終了情報画面

機能メニュー▶P.252

機能 待受画面終了情報画面

- ① **待受画面終了情報画面 (P.252)**▶

情報コピー……待受画面終了情報の内容をコピーします。

情報削除……待受画面終了情報の情報を削除します。

お知らせ

- i アプリ待受画面が正常に終了した場合（通常終了時）は、記録されません。

i アプリを管理する

i アプリをバージョンアップする

〈バージョンアップ〉

ダウンロードしたソフトがサイトでより新しいソフトに更新されている場合は、ソフトをバージョンアップできます。

① ソフト一覧画面 (P.245) ▶ [機能] ▶ 「バージョンアップ」▶ 「YES」

お知らせ

- 以下のような場合、メールフォルダ名を変更するメール連動型 i アプリをバージョンアップできません。
 - ・ メールセキュリティの設定中
 - ・ フォルダセキュリティの設定中

microSD メモリーカード内の i アプリデータを表示する

〈microSD 保存データ〉

microSD メモリーカードに保存されている i アプリデータ (microSD) をフォルダ名で一覧表示します。

① ▶ 「i アプリ」▶ 「microSD 保存データ」

「microSD 保存データ一覧画面」が表示されます。

以下の機能メニューから、データ情報の表示とデータの削除が行えます。

microSD 保存データ一覧画面

① microSD 保存データ一覧画面 ▶ [機能] ▶ 以下の項目から選択

データ情報……「データ情報について」→P.253

1件削除・選択削除・全削除……いずれかの削除方法を選択します。
「複数選択について」→P.39

お知らせ

- ソフトから microSD メモリーカードに保存する i アプリデータは、ほかの FOMA 端末で利用できない場合があります。
- ソフトから microSD メモリーカードに i アプリデータを保存するかどうかは、「ソフト情報」(P.247) で確認できます。

● データ情報について

項目	情報内容	
作成者	i アプリの作成者情報を表示 (情報がなければ「無し」を表示)	
利用可能ソフト	microSD メモリーカードを利用できる i アプリのソフト名を表示 (情報がなければ「無し」を表示)	
フォルダ利用	i アプリが microSD メモリーカードを利用できない原因があるかを表示 「利用不可原因」が1つでもある場合は「不可」、すべてない場合は「可能」を表示	
利用不可原因	ソフト動作制限	利用できる i アプリがないときに表示※
	FOMA カード動作制限	利用したときの FOMA カードと違うときに表示※
	機種制限	FOMA N704iμ 以外で利用した i アプリデータのときに表示※
	シリーズ制限	704i シリーズ以外で利用した i アプリデータのときに表示※

※： i アプリが microSD メモリーカードを利用できない原因がない場合はグレー表示となります。

